

福岡大学病院 眼科 卒後臨床研修プログラム

1. プログラムの名称

福岡大学病院 眼科 卒後臨床研修プログラム

2. 目的と特徴

2年間の研修のうち、1～3ヵ月の研修を実施する。

本プログラムは、卒後臨床研修修了後に眼科を志す医師は元より他分野に進む医師に対しても、基礎となりうる知識、手技、経験を提供することで眼科的な基本的知識、対処法を習得させる事を目的とする。

3. プログラム指導者と参加施設の概要

(1) プログラム指導者

指導責任者：福岡大学病院 眼科 診療部長 内尾 英一（主任教授）

他の指導者：尾崎 弘明診療教授、高橋 理恵助教、原田 一宏助教、
川村 朋子助教、上野 智弘助教、小林 彩加助教

(2) 基 幹 施 設：福岡大学病院 眼科

4. プログラムの管理運営

福岡大学病院の規定に従う。

5. 定員および選考方法

福岡大学病院の規定に従う。

6. 教育課程

(1) 臨床研修内容と診療体制

外来、病棟、手術での業務につき実践する。外来では初診患者の間診及び基本診察を行う。病棟では副主治医として、入院患者を受け持ち、基本的眼科検査法、診察法、周術期管理を経験する。受け持った患者についてカンファレンスでプレゼンテーションを行う。指導医が当直のときは副当直として眼科救急疾患に対する診療を経験する。基本的手術における手術助手を経験する。

(2) 勤務時間

原則として月～金曜日までは午前8時30分から午後5時30分、ただし、教育行事により午前8時から午後7時くらいまで延長する曜日もある。

(3) 教育に関する行事

① 医 局 会：週1回

② 主任教授回診：週1回

講 師 回 診：週2回

- ③ 症例検討会：週1回（副主治医の場合はプレゼンテーションを行う。）
- ④ 抄読会：週1回
- ⑤ 眼底写真カンファレンス：週1回
- ⑥ セミナー、招待講演：内外の講師を招く。3ヵ月に1～2回程度
- ⑦ 福岡大学眼科研究会：年1回

(4) 指導体制

研修医1名に対し、指導医がマンツーマンで直接の指導にあたる。この診療グループはさらに上級スタッフ（助教、講師）および主任教授の指導ならびに監督を受ける。

7. 当科の医療安全等に係る研修医教育

眼科カンファレンス（毎週月曜日）午後4時30分～

- ① 角膜感染症および角膜移植
- ② 小児眼科
- ③ 緑内障
- ④ ぶどう膜炎
- ⑤ 眼底疾患の内科的治療
- ⑥ 未熟児網膜症、斜視、弱視
- ⑦ 神経眼科疾患
- ⑧ 眼底疾患の外科的治療
- ⑨ 眼科における感染予防
- ⑩ 種処置における注意点

8. 評価方法

研修開始の際、到達目標、研修歴、受け持ち症例名簿、日本眼科学会専門医制度カリキュラムを配布して自己評価を行わせる。指導医は、この自己評価表を随時点検し、研修医の到達目標を援助する。

9. 身分と待遇

福岡大学の規定に従う。

10. 資料請求先

福岡大学病院 眼科 医局長 原田 一宏
〒814-0180 福岡市城南区七隈7-45-1
TEL：092-801-1011（内線：3475）
FAX：092-865-4445
E-mail: ganka@fukuoka-u.ac.jp